



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月11日

上場会社名 ジョルダン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3710 URL http://www.jorudan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 俊和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 岩田 一輝 (TEL) 03-5369-4051
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	2,299	2.5	341	2.2	342	7.8	213	21.0
28年9月期第2四半期	2,242	0.4	334	20.0	318	13.0	176	12.4

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 255百万円(64.3%) 28年9月期第2四半期 155百万円(△23.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	41.18	—
28年9月期第2四半期	33.82	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	5,557	4,500	80.8
28年9月期	5,469	4,399	80.2

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 4,491百万円 28年9月期 4,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	13.00	13.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	0.3	560	0.9	550	10.7	330	31.7	63.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益につきましては、当第2四半期連結累計期間における自己株式取得に伴う期中平均株式数の変動を反映しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	5,255,000株	28年9月期	5,255,000株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	124,443株	28年9月期	35,443株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	5,189,162株	28年9月期2Q	5,219,597株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢、市場動向に関わるリスクや不確定要因等により変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年10月1日～平成29年3月31日）におけるわが国経済は、一部に改善の遅れが見られるものの緩やかな景気回復基調が続いてまいりましたが、一方で海外経済の不確実性等に留意が必要な状況となってまいりました。

情報通信業界におきましては、企業のソフトウェア投資は概ね横ばいの傾向となっておりますが、情報サービス業及びインターネット随伴サービス業の売上高については前年同四半期（平成27年10月1日～平成28年3月31日）と比べ増加傾向となりました。また、個人のインターネットを利用した支出についても前年同四半期と比べ増加傾向にあります。このような中、スマートフォンの更なる普及（特にSIMフリースmartフォンの普及）に加え、IoTの進展や人工知能技術の進化等、情報通信に関する市場環境の変化は更に加速してまいりました。

当社グループにおきましても、この市場環境の変化に対応した事業展開のための基盤整備に取り組んでまいりました。「乗換案内」の各種インターネットサービス（携帯電話サイト・スマートフォンアプリ・スマートフォンサイト・PCサイト）の検索回数は平成29年3月には月間約2億1,900万回となりました。また、当該サービスの月間利用者数（無料サービスを月に1回以上ご利用いただいた方及び有料会員の方の合計）は当第2四半期連結累計期間においては1,000万人から1,200万人ほどとなっており、多くの方々に広くご利用いただいております。

このような環境の中で、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,299,623千円（前年同四半期比2.5%増）、営業利益は341,436千円（前年同四半期比2.2%増）、経常利益は342,990千円（前年同四半期比7.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は213,683千円（前年同四半期比21.0%増）という経営成績となりました。

売上高につきましては、乗換案内事業セグメント及びその他セグメントの売上高の増加が、マルチメディア事業セグメントの売上高の減少を上回り、全体として前年同四半期と比べ増加いたしました。利益につきましては、全社費用の削減等により、営業利益は前年同四半期と比べ若干の増加となりました。経常利益は、受取配当金の増加、為替差益の発生及び持分法による投資損失の減少等により増加いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加に加え、投資有価証券売却益の発生や投資有価証券評価損の減少等があり、大幅に増加いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(乗換案内事業)

乗換案内事業では、広告等について、特に「乗換案内」のスマートフォンアプリにおける広告の販売が増加し、その売上高が前年同四半期と比べ大きく増加いたしました。また、グルメ関連の事業における売上高も増加いたしました。これらの影響が、旅行関連の事業における売上高の減少の影響等を上回り、乗換案内事業全体として売上高は前年同四半期と比べ増加いたしました。一方で利益面では、今後の展開を見据えた人員増強の影響等により販売費及び一般管理費が増加しており、前年同四半期と比べやや減少いたしました。

それらの結果、乗換案内事業全体としては売上高2,204,268千円（前年同四半期比3.3%増）、セグメント利益486,880千円（前年同四半期比2.1%減）となりました。

(マルチメディア事業)

マルチメディア事業では、出版関連の事業における新刊タイトル数の状況等により、売上高は前年同四半期と比べ減少いたしました。これに伴い、利益面でも損失がやや拡大いたしました。

それらの結果、売上高23,263千円（前年同四半期比62.4%減）、セグメント損失11,780千円（前年同四半期は3,347千円の損失）となりました。

(その他)

受託ソフトウェア開発等の事業におきましては、案件の受注・納品が順調に推移したこと等により、前年同四半期と比べ売上高は増加いたしました。一方で、費用も増加しており、利益はほぼ前年同四半期と同程度となりました。

それらの結果、売上高79,362千円（前年同四半期比44.5%増）、セグメント利益5,221千円（前年同四半期比6.0%増）となりました。

なお、上記のセグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を相殺しておりません。また、セグメント利益又は損失は、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間の内部取引費用の控除前の数値であり、合計は連結営業利益と一致しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における財政状態は、前連結会計年度末（平成28年9月末）と比較しますと、資産は88,535千円増の5,557,719千円、負債は12,601千円減の1,056,836千円、純資産は101,136千円増の4,500,882千円となりました。

資産は、流動資産につきましては、76,958千円増の4,403,820千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が223,300千円増の796,452千円となった影響が、現金及び預金が88,397千円減の3,232,130千円、前渡金が43,371千円減の206,410千円となった影響を上回ったこと等によるものです。受取手形及び売掛金の増加は、多くの企業や自治体等の年度末となるため3月の売上高が増加したこと等によるものです。現金及び預金の減少は、固定資産の取得、配当金の支払、自己株式の取得等によるものです。前渡金の減少は、旅行関連の仕入に係る前渡金が減少していること等によるものです。

固定資産につきましては、11,576千円増の1,153,898千円となりました。これは、有形固定資産が16,007千円増の252,481千円、無形固定資産が8,185千円減の120,417千円、投資その他の資産が3,754千円増の780,999千円となったことによるものです。有形固定資産の増加は、設備更新等のための工具、器具及び備品の取得、為替変動の影響等によるものです。無形固定資産の減少は、主に償却が進んでいることによるものです。投資その他の資産は、その他有価証券の売却等の一方で、持分法適用関連会社に対する持分相当額の増加等があり、全体としては大きな金額の変動はありませんでした。

負債は、流動負債につきましては、15,579千円減の1,044,090千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が57,207千円増の226,882千円となった一方で、前受金が62,643千円減の477,856千円となったこと等によるものです。支払手形及び買掛金の増加は、3月の売上高の増加に対応した売上原価の増加等によるものです。前受金の減少は、旅行関連の売上に係る前受金が減少していること等によるものです。

固定負債につきましては、2,978千円増の12,745千円となりました。これは、繰延税金負債が2,987千円増の4,923千円となったこと等によるものです。

純資産は、株主資本が64,157千円増の4,414,914千円、その他の包括利益累計額が42,427千円増の76,245千円、非支配株主持分が5,448千円減の9,722千円となりました。株主資本の増加は、利益剰余金が145,829千円増の3,949,362千円となった影響が、自己株式が81,674千円増の99,115千円となった影響を上回ったこと等によるものです。利益剰余金の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益が剰余金の配当を上回ったことによるものです。自己株式は、市場買付を行ったことにより増加いたしました。その他の包括利益累計額の増加は、その他有価証券評価差額金が23,637千円増の42,278千円、為替換算調整勘定が18,789千円増の33,967千円となったことによるものです。非支配株主持分の減少は、主に連結子会社の株式の追加取得によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ93,497千円減の3,192,371千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは122,495千円の収入（前年同四半期比56.2%減）となりました。

前年同四半期と比べての変動の要因は、前受金の減少額が62,745千円（前年同四半期は増加額が60,480千円でその差123,226千円）、法人税等の支払額が104,380千円増の131,068千円となった影響が、税金等調整前四半期純利益が44,160千円増の352,461千円、前渡金の減少額が43,371千円（前年同四半期は増加額が32,288千円でその差75,660千円）となった影響を上回ったこと等です。

前受金及び前渡金の減少額が増えた主要因は、それぞれ旅行関連の売上及び仕入に係る前受金及び前渡金が減少したことです。法人税等の支払額が増えた主要因は、前年同四半期において、それ以前の利益状況等の影響で法人税等の支払額が少なかったことです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは75,906千円の支出（前年同四半期比73.1%減）となりました。

前年同四半期と比べての変動の要因は、前年同四半期に投資有価証券の取得による支出が100,000千円、関係会社株式の取得による支出が22,000千円、子会社株式の取得による支出が67,158千円だったものがいずれも無くなり、逆に前年同四半期には無かった投資有価証券の売却による収入が27,000千円となったこと等です。

投資有価証券の売却による収入は、その他有価証券を売却したことによる発生いたしました。また、投資有価証券、関係会社株式及び子会社株式の取得につきましては、当第2四半期連結累計期間には特に行っておらず、その結果、前年同四半期と比べ支出が大きく減りました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは153,652千円の支出（前年同四半期比127.2%増）となりました。

前年同四半期と比べての変動の要因は、自己株式の市場買付を行ったことにより、前年同四半期には無かった自己株式の取得による支出が81,674千円となったこと等です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,320,528	3,232,130
受取手形及び売掛金	573,151	796,452
商品及び製品	6,849	4,441
仕掛品	7,716	3,740
原材料及び貯蔵品	237	4
前渡金	249,781	206,410
繰延税金資産	50,897	45,337
その他	128,906	128,565
貸倒引当金	△11,206	△13,261
流動資産合計	4,326,861	4,403,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	57,615	56,785
機械装置及び運搬具（純額）	5,131	3,311
工具、器具及び備品（純額）	89,779	104,764
土地	83,947	87,620
有形固定資産合計	236,473	252,481
無形固定資産		
のれん	5,877	3,918
ソフトウェア	119,832	114,001
その他	2,893	2,498
無形固定資産合計	128,603	120,417
投資その他の資産		
投資有価証券	527,563	534,672
敷金及び保証金	226,722	226,636
その他	35,985	31,426
貸倒引当金	△13,025	△11,735
投資その他の資産合計	777,245	780,999
固定資産合計	1,142,322	1,153,898
資産合計	5,469,183	5,557,719

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	169,675	226,882
未払費用	64,860	63,491
未払法人税等	145,650	151,969
未払消費税等	33,340	31,648
前受金	540,500	477,856
賞与引当金	66,060	65,480
役員賞与引当金	5,000	3,960
返品調整引当金	6,947	688
ポイント引当金	3,038	3,029
受注損失引当金	1,834	-
その他	22,763	19,084
流動負債合計	1,059,669	1,044,090
固定負債		
ポイント引当金	2,431	2,422
繰延税金負債	1,936	4,923
その他	5,400	5,400
固定負債合計	9,767	12,745
負債合計	1,069,437	1,056,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	277,375	277,375
資本剰余金	287,290	287,291
利益剰余金	3,803,532	3,949,362
自己株式	△17,440	△99,115
株主資本合計	4,350,756	4,414,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,640	42,278
為替換算調整勘定	15,177	33,967
その他の包括利益累計額合計	33,817	76,245
非支配株主持分	15,171	9,722
純資産合計	4,399,746	4,500,882
負債純資産合計	5,469,183	5,557,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	2,242,906	2,299,623
売上原価	1,205,307	1,228,120
売上総利益	1,037,598	1,071,502
返品調整引当金戻入額	6,815	6,947
返品調整引当金繰入額	8,524	688
差引売上総利益	1,035,889	1,077,761
販売費及び一般管理費	701,694	736,325
営業利益	334,195	341,436
営業外収益		
受取利息	424	374
受取配当金	896	5,896
為替差益	-	6,244
受取事務手数料	3,001	2,074
雑収入	1,529	716
営業外収益合計	5,851	15,305
営業外費用		
持分法による投資損失	19,556	12,009
投資事業組合運用損	-	1,153
為替差損	2,154	-
雑損失	26	589
営業外費用合計	21,737	13,751
経常利益	318,309	342,990
特別利益		
固定資産売却益	-	479
投資有価証券売却益	-	9,500
特別利益合計	-	9,979
特別損失		
固定資産除却損	8	-
投資有価証券評価損	10,000	-
子会社株式評価損	-	507
子会社清算損	-	0
特別損失合計	10,008	507
税金等調整前四半期純利益	308,301	352,461
法人税等合計	131,664	139,742
四半期純利益	176,637	212,718
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	90	△965
親会社株主に帰属する四半期純利益	176,546	213,683

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	176,637	212,718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,871	4,196
為替換算調整勘定	△9,848	14,755
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,663	23,476
その他の包括利益合計	△21,383	42,427
四半期包括利益	155,254	255,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155,163	256,111
非支配株主に係る四半期包括利益	90	△965

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	308,301	352,461
減価償却費	71,899	59,041
のれん償却額	1,959	1,959
持分法による投資損益(△は益)	19,556	12,009
貸倒引当金の増減額(△は減少)	758	764
返品調整引当金の増減額(△は減少)	1,709	△6,259
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,161	△18
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,552	△580
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,275	△1,040
受注損失引当金の増減額(△は減少)	473	△1,834
受取利息及び受取配当金	△1,320	△6,270
売上債権の増減額(△は増加)	△207,070	△223,210
前受金の増減額(△は減少)	60,480	△62,745
たな卸資産の増減額(△は増加)	14,048	6,616
仕入債務の増減額(△は減少)	67,335	58,780
前渡金の増減額(△は増加)	△32,288	43,371
未払費用の増減額(△は減少)	3,242	△1,414
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,365	△2,002
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△9,500
投資有価証券評価損益(△は益)	10,000	-
子会社株式評価損	-	507
固定資産売却損益(△は益)	-	△479
投資事業組合運用損益(△は益)	-	1,153
子会社清算損益(△は益)	-	0
その他	△396	25,882
小計	305,334	247,192
利息及び配当金の受取額	1,203	6,371
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△26,688	△131,068
営業活動によるキャッシュ・フロー	279,850	122,495

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△27,303	△25,503
定期預金の払戻による収入	21,602	19,803
有形固定資産の取得による支出	△37,918	△37,993
有形固定資産の売却による収入	-	1,639
無形固定資産の取得による支出	△26,088	△31,822
投資有価証券の取得による支出	△100,000	-
投資有価証券の売却による収入	-	27,000
関係会社株式の取得による支出	△22,000	-
子会社株式の取得による支出	△67,158	-
短期貸付けによる支出	△30,000	△25,000
短期貸付金の回収による収入	-	2,000
敷金及び保証金の差入による支出	△1,452	△6,029
敷金及び保証金の回収による収入	8,399	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△281,920	△75,906
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△81,674
配当金の支払額	△67,589	△67,496
非支配株主への配当金の支払額	△41	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△4,481
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,631	△153,652
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,257	13,566
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△77,959	△93,497
現金及び現金同等物の期首残高	3,030,820	3,285,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,952,861	3,192,371

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年11月10日開催の取締役会決議に基づき、平成28年11月17日から平成28年12月14日の期間において、市場買付により37,200株、29,919千円の自己株式を取得いたしました。同じく、平成29年2月9日開催の取締役会決議に基づき、平成29年2月13日から平成29年3月17日の期間において、市場買付により51,800株、51,754千円の自己株式を取得いたしました。これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は124,443株、99,115千円となっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,134,281	61,845	2,196,127	46,779	—	2,242,906
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	—	20	8,127	△8,148	—
計	2,134,302	61,845	2,196,148	54,906	△8,148	2,242,906
セグメント利益 又は損失(△)	497,362	△3,347	494,014	4,925	△164,744	334,195

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△164,744千円には、のれん償却額△1,959千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△162,785千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,203,533	23,263	2,226,797	72,825	—	2,299,623
セグメント間の内部 売上高又は振替高	734	—	734	6,536	△7,270	—
計	2,204,268	23,263	2,227,531	79,362	△7,270	2,299,623
セグメント利益 又は損失(△)	486,880	△11,780	475,099	5,221	△138,884	341,436

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△138,884千円には、のれん償却額△1,959千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△136,925千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。